

保育計画成果報告書

法人名等	学校法人堀内学園
施設名	幼保連携型認定こども園菜根こども園
報告者（役職）	樫村 勇仁（園長）
住所・連絡先	〒963-8862 福島県郡山市菜根1丁目13-20
	☎ 024-954-6800
	E-mail info@horiuchi-gakuen.com

○タイトル（保育計画）

和太鼓にふれ、日本の伝統文化に対する知識や興味を深め、心身を育む。

○主な助成備品

宮太鼓、締太鼓、平太鼓等

1. 保育計画策定の目的

堀内学園は7年前の東日本大震災による原発事故当時、福島第一原発から10キロの場所、富岡町に位置しておりました。震災翌日の12日に富岡町が避難区域になり、幼稚園は移転を余儀なくされました。

同年の8月に会津若松市に仮園舎にて幼稚園を再開し、平成29年10月、夢であった堀内学園の拠点ともなる自園の園舎を郡山市に幼保連携型認定こども園“菜根こども園”として開園致しました。

福島県の子どもたちが震災で受けた心へのダメージはとても大きなものだと感じております。しかし、困難にぶつかった時こそ、立ち向かい、乗り越えていく力が今の子どもたちには必要だと考えております。

その方法の一つとして計画したのが「和太鼓」です。和太鼓は子どもたちの心身の健康に効果的で、大きく体を動かす和太鼓の演奏は体幹を鍛え、お子さまの健康的な体づくりに役立ちます。また演奏する中で正しい姿勢が身につく点もポイントです。

また和太鼓は心の健康にも役立ちます。例えば、力いっぱい太鼓を叩くため、ストレスの解消になると言われています。さらに和太鼓は脳の活性化やリラックスにも役立つとされています。

堀内学園が目標としている“生きる力”を育む保育のために、今回、保育計画を策定しました。

2. 具体的な実施内容

(1) 和太鼓について学ぶ (3. 4. 5 歳児)

- 和太鼓の種類、特徴を子どもたちに和太鼓を見せながら、実際に自由に叩いたりして和太鼓について学ぶ。

和太鼓を初めてみた子どももおり、種類の違う太鼓を実際に叩いてみて、「この太鼓とこの太鼓で音が違う」「真ん中を叩くと大きな音が出るよ」など、子どもたちの疑問や興味がでてくる。

(2) 和太鼓を使って、簡単なリズムうちをしてみる (3. 4. 5 歳児)

- 「タン・タン・タン」「タタタタタン」など簡単なリズムうちをしてみる。

実際に太鼓を叩く前に手を使ってリズム打ちを行い、子どもたちがリズムに慣れてきてから、太鼓を叩く。

(3) 曲に合わせて和太鼓を叩いてみる (3. 4. 5 歳児)

- 子どもたちの知っている曲に合わせて、簡単なリズムを叩いてみる。

簡単な曲を使って、リズム打ちで練習したリズムを曲に合わせて叩いてみる。

(4) 発表 (3. 4. 5 歳児)

- 発表する機会を作り、発表を目指しながら練習することで、できるようになる喜びや、達成感を感じる。

誕生会で実際に5歳児が発表をし、初めての太鼓の演奏で緊張しながらも、上手に発表ができた。

3歳、4歳の子どもたちも5歳児の発表をみて、憧れをもち、自分も発表したいという気持ちを持つことができた。



3. その成果と評価

- ・和太鼓という日本の楽器にふれ、日本の楽器に興味を持った子どもたちが増えた。
- ・和太鼓を思いっきり叩くことで、爽快感や他の友達と合わせて演奏することで一体感などを感じることができた。
- ・発表をすることで練習を積み重ねて、頑張ってきたことの達成感を感じることができた。そして、カッコイイ発表をみることで、憧れや自分もやりたいという意欲につながった。

4. 今後の課題と展望

- ・子どもたちから「おじいちゃんにも見せたい」などの声のでたので、発表の機会が園内だけではなく、保護者や地域の人たちにも見せられる機会をつくっていきたい。
- ・和太鼓の数に限りがあるので、より多くの子どもたちが和太鼓にふれられるように練習時間の調整をする。

以上